

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.6.23
担当課名	上下水道課
担当グループ名	水道グループ
担当者名	

1 事業概要

(1)事業名	建設改良費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	快適な環境のまちく生活環境の整備		①会計区分	水道事業	
②大項目	上水道		②財源区分	町単独	
③中項目	強靱な水道		③予算科目	款	1 項 1 目 1
④施策					
⑤施策コード	4・1・2・0	掲載ページ	68	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務		①総合戦略 (該当事業名)	無	
②根拠法令	水道法				
③事業期間	開始	不明	年	月	から
			終了	未定	年
					月

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何の目的に行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
自然災害等による被害の最小化及び被災時の迅速な復旧	配水管の新設・老朽化した水道施設の計画的な更新及び基幹施設の耐震化
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
需要者	無効水量(漏水等による損失水量)の減少及び防災対策
対象数	27,785
単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

水道施設は近い将来に大規模な更新が必要となるため、災害時等にも安定的な給水を行うための計画的な取り組みが求められています。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	建設改良費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	建設改良費	102,924	209,466	131,033	118,079	149,839
	企業債償還金(元金)	58,016	61,630	68,761	60,839	44,129
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	160,940	271,096	199,794	178,918	193,968
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	160,940	271,096	199,794	178,918	193,968
	合計	160,940	271,096	199,794	178,918	193,968
(4)補助金名						
(5)人件費						
	投入職員数	2.69	2.54	3.02	2.63	2.70
	年間人件費	20,756	19,403	23,037	19,835	20,782
(6)総事業費		181,696	290,499	222,831	198,753	214,750
	サービス量(人)	29,197	28,617	28,229	27,785	27,785
	サービス単価	6,200	10,200	7,900	7,200	7,700
(単位)	円/需要者1人あたり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)			建設改良費			
指標名			単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	配水管更新延長	目標値	km	2.60	2.60	1.30
		実績値	km	0.74	0.75	
		達成率	%	28.5	28.8	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	有収率 ※給水する水量と料金として収入のあった水量との比率(総振目標指標p68) R7年度目標値 90.00%	目標値	%	90.0	90.0	90.0
		実績値	%	85.8	84.0	
		達成率	%	95.3	93.3	
	「上水道」についての住民満足度 (総振目標指標p68) R7年度目標値 62.0%	目標値	%	62.0	62.0	62.0
		実績値	%	—	—	
		達成率	%	—	—	
(3) その他指標に現れない成果						
多発している漏水修繕を優先に行い、断水を未然に防ぐとともに施設そのものの耐用年数を伸ばすことができています。※「上水道」についての住民満足度に関しては、5年に1度調査しているため、実績値・達成率は空欄です。 (次回調査実施は令和6年度を予定しています。)						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(工事箇所数の増減に左右されるため)	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(漏水、消防活動などによる原因で有収率が下がっている)	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
老朽化した水道施設の更新及び基幹施設の耐震化に多額な予算が必要となります。また、青山浄水場更新を控えているため配水管更新が予定とおりに行えないため更新延長の達成率が低い値を示しております。そのため、計画的に低コストな手法等の検討を行いながら維持管理や先進的な漏水調査を行い有収率の向上にも努めていきます。						
6 事業の方向性の判断			1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)		(2) 二次評価 (政策推進課長)		(3) 最終評価 (町長)	
評価	2					
説明	災害時にも浄水場機能を持続させるため、施設の耐震性を向上させる。					